

(19)日本国特許庁 (JP)

(2) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-157572

(43)公開日 平成10年(1998)6月16日

(51)Int.Cl.
B 60 R 25/10
G 08 B 13/00
13/12

識別記号
607

F I
B 60 R 25/10
G 08 B 13/00
13/12

607

B

審査請求 未請求 請求項の数4 FD (全5頁)

(21)出願番号 特願平8-330167

(22)出願日 平成8年(1996)11月27日

(71)出願人 593042823

後藤 宏志

千葉県柏市松葉町5丁目1番地15棟104号

(72)発明者 後藤 宏志

千葉県柏市松葉町5丁目1番地15棟104号

(54)【発明の名称】 防犯警報装置付カーカバー、貯水槽付カバー収納ケース、及びカバー回転装着用巻き直し器

(57)【要約】

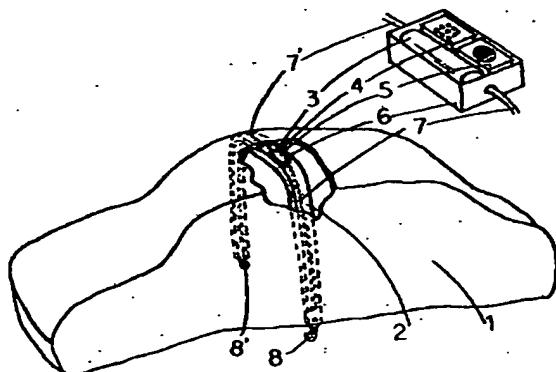
【課題】 (A) 駐車中の車を狙おうとする不法侵入者が、装着してあるカーカバーに手をかけたとたん、ブザーが鳴りライトが点灯して、侵入者を威嚇警報する。

(防犯警報装置付カーカバー)

(B) カバー格納箱の底を仕切って101程の貯水槽とし、緊急の水使用、レジャーの水使用に備える。(貯水槽付カバー収納ケース)

(C) 装着中風に飛ばされたりして面倒なカバーホルダーを、車上を転がして早く楽に出来るよう、巻き直し器を使ってカバーを装着順に丸く固く巻き直して用意しておく。(カバー回転装着用巻き直し器)

【解決手段】 カーカバー1に警報ブザー4やスイッチ付鉤止具8を埋めこみこれを車体に掛け止めする。またこれを格納するカーカバー収納ケース11の底を仕切って、貯水槽13を形成し、ポンプ16を取付ける。さらにこのケースの蓋17にハンドル19つきの軸棒20を渡しかける。



BEST AVAILBLE COPY

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】イ. カーカバー1の中央部を左右に、長尺布をあてて縫い付け、筒2をつくる。
 ロ. 乾電池3、警報ブザー4、警報灯5を収めたボックス6はその外部へ配線7、7'を伸ばし、その先端にはスイッチ付鉤止具8、8'を繋いでいる。
 ハ. 筒2の中に、ボックス6と配線7、7'を封入してカーカバー1に止着するが、スイッチ付鉤止具8、8'は筒2より露出し遊着させている。以上のようにして構成した、防犯警報装置付カーカバー。

【請求項2】イ. 乾電池3、警報ブザー4、警報灯5を収めたボックス6の背に、車内掛止具9を取り付ける。
 ロ. ボックス6より外部へ伸ばした配線7は、保護クッション10にくるまれ、先端にスイッチ付鉤止具8を繋いでいる。以上のように構成した付属具からなる、防犯警報装置付カーカバー。

【請求項3】イ. カーカバー収納ケース11の底部を、弧状の仕切板12で仕切って、貯水槽13を形成する。
 ロ. 貯水槽13の壁を開口して、取水口14および放水口15を設け、またカーカバー収納ケース11にポンプ16を取付ける。以上のように構成した、貯水槽付カバー収納ケース。

【請求項4】 カーカバー収納ケース11の蓋17などの構成体に、軸受18を放置し、この軸受18に、ハンドル19を取付けた軸棒20を渡しかけることを特長としたカバー回転装着用巻き直し器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明はカーカバーの次の3点に関するものである。

(A) 防犯警報装置を取りつけたカーカバー、(B) その底部に貯水槽とポンプを備えたカーカバー収納ケース、(C) カーカバーをボデー上に回転させながら装着するためのカバー巻き直し器。

【0002】

【従来の技術】これら3点の従来の技術は次のようなものであった。

(A') 車につける警報装置は、微弱電波警報器、ハンドル鏡など車内にセットするものであった。

(B') カーカバーの収納ケースと、非常用に車載する水の容器は別個に用意された。

(C') 置んであるカーカバーを装着する時は、全体を車の上に広げて、あちこち掛け止める場所を確認しながら行なった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このそれぞれ3点には次のような問題点があった。

(A') 従来の車の警報装置は、車上荒らし等が室内に入って始めて作動するため、窓ガラスを破られる又はドアのキーシリンダーを壊されるなど、侵入者が警報

で逃げ出す前に、既に車の一部を壊されていることがあった。

(B') カーカバーを積んだまま走る車はあっても、水の車載用容器を備える車は少なく、ドライバー先で緊急の必要に困ることがあった。

(C') カバーを車上に広げた時風に飛んだり、カバーの前後を間違えて車に置いたりし、装着に手間どった。

【0004】

10 【課題を解決するための手段】本発明は自動車およびそれに掛けるカバーの上記問題点を解決するため、①～④の手段を構築した。図によりこれを説明する。

【0005】① 防犯警報装置付カーカバーのひとつの手段として、カーカバーそのものが警報装置とする構成がある。まずカーカバー1の中央部を左右に渡して、一枚の長尺布をあてて縫い付け、筒2をつくる。次に乾電池3、警報ブザー4、警報灯5を収めたボックス6を用意するが、このボックス6はその外部へ配線7、7'を伸ばしており、更にその配線7、7'の先端にはスイッチ付鉤止具8、8'を繋いでいる。最後に筒2の中に、ボックス6と配線7、7'を封入してカーカバー1に止着するが、スイッチ付鉤止具8、8'は筒2より露出し遊着させている。(図1)

20 ② 防犯警報装置付カーカバーの他の手段として、使用する付属具が警報装置とする構成がある。まず乾電池3、警報ブザー4、警報灯5を収めたボックス6の背に、車内掛止具9を取り付ける。次にボックス6より外部へ伸ばした配線7は、保護クッション10にくるまれ、その先端にスイッチ付鉤止具8を繋いでいる。

(図2)

【0007】③ 貯水槽付カバー収納ケースの手段として、まずカーカバー収納ケース11の底部を、弧状の仕切板12で仕切って、貯水槽13の空間を形成する。次に貯水槽13の壁を開口して、取水口14および放水口15を設け、またカーカバー収納ケース11の一部にポンプ16を取付ける。(図3)

30 ④ カバー回転装着用巻き直し器の手段として、カバー収納ケース11の蓋17などの構成体に、軸受18を設置し、この軸受18に、ハンドル19を取付けた軸棒20を渡しかける。(図3)

【0009】

【発明の実施の形態】以上の4つの手段を講じたことにより、次の①～④の作用をみることができる。

【0010】① カーカバー1そのものに、警報ブザー4、警報灯5、スイッチ付鉤止具8など電気器具が埋め込んであり、カーカバー1を車体側の掛け止め箇所へ掛け止めた時、これ等電気器具をセット状態とすることができる。

40 ② カーカバー1を装着する時の車体側の掛け止め箇所そのものが、警報ブザー4、警報灯5、ス

3.

イッチ付鉤止具8など電気器具を包括したものであり、カーカバー1をこれへ掛けた時、これ等電気器具をセット状態とすることができます。

【0012】③ カーカバー1をカバー収納ケース11に入れて庫が移動する時は、必然的に貯水槽13も同移動する。また、カーカバー1を丸く巻いて収納ケース11に入れた時生ずる、収納ケース11の底部の「U」形の余り空間を、機能的な活用場所とする。

【0013】④ いたんカバー収納ケース11に収めたカーカバー1を、装着しやすい順に、軸棒20に固く丸く巻き直す。

【0014】

【実施例】この発明の実施例を図をみながら説明する。第4～第6図が防犯警報装置付カーカバーの実施例、第7図が貯水槽付カバー収納ケースの実施例、そして第8図がカバー回転装着用巻き直し器の実施例を表わしている。

【0015】第4図が防犯警報装置付カーカバー第1の実施例である。カーカバー1の中央部を左右に端まで横断して、長尺布で筒2を形成している。一方、別途用意のボックス6は筒2のほぼ中央に置いてカバー1に固定されるが、その内部に乾電池3、警報ブザー4、警報灯5を収めて、ブザーが鳴る又はライトが光る構造をしている。この電気装置のON=OFFスイッチは、ボックス6より外へ左右に延びる配線7、7'の先端、即ちスイッチ付鉤止具8、8'に在り、筒2より顔を覗かせる程度に遊んで取付けられる。この実施例を実際に車に行う時は、カーカバー1を車に掛けた後、そしてスイッチ付鉤止具8、8'を車体の左右の突起物へ掛けた完了と、通常の車のカバー掛けと変わらない。ただひとつ違うのは、最後にスイッチ付鉤止具8、8'の操作により、全体の電気装置を作動可能状態にして車を離れることだけである。これで不法侵入者22を警報するセットアップ状況となるのである。尚、カバー掛けする車は屋外に置くのが通常であるから、乾電池3はソーラー電池も考えられ、又スイッチ付鉤止具8、8'に収められているON=OFFスイッチは、形や力を検知するセンサーにすることも考えられる。

【0016】第5図が防犯警報装置付カーカバー第2の実施例である。ここでは長尺布をより短いものとして、これをカーカバー1の中央でなく周辺部に配置して、筒2を形成している。又この中へ封入するボックス6は、外部へ1本だけ配線7を延ばし、従ってその先のスイッチ付鉤止具8も1個だけである。この実施例では以上の筒2およびボックス6等を、カーカバー1の周辺部へ複数用意するとしている。他は第1の実施例と同様である。

【0017】第6図が防犯警報装置付カーカバー第3の実施例である。乾電池3、警報ブザー4、警報灯5を収めたボックス6の背に、車内掛止具9を取付ける。この

4

ボックス6より外部へ配線7を伸ばしているが、配線7は保護クッション10にくるまれ、その先端にスイッチ付鉤止具8を繋いでいる。この実施例を実際に車に行う時は、まず車内掛止具9の利用により、ボックス6を、車内のピラー、シート、ドア、フロア等に掛け止める。従って車内掛止具9の形状や材質は、「コ」の字型金具、ベルト、マグネット、吸盤、ゴム、ネジ、接着剤などが考えられる。この実施例を実際に車に行う時は、まずドアと車体の間に保護クッション10を挟み、スイッチ付鉤止具9を車外へ出してドアを閉める。保護クッション10の材質はウレタンフォーム、ゴムなど弾力性のもので作られているので、挟まれただけで強く締めつけられ動くことはない。カーカバー1を車に掛けた後で筒2をスイッチ付鉤止具8に掛け止め、最後はスイッチ付鉤止具8を操作し、電気装置を作動可能状態にし車を離れることは第1の実施例と同じである。

【0018】第7図が貯水槽付カバー収納ケースの実施例である。カーカバー収納ケース11の底部を皿状の仕切板12で仕切って、貯水槽13のスペースを作っている。皿状にするのは、「特願平5-311062 自動車カバーの収納ボックス」の如く、カバーはケースやボックスに収める場合丸く巻くことが多く、底がU状でも問題はなく、むしろ貯水槽13の容量が多くとれてよい。しかし仕切板12を平坦な板にするのも一向にかまわない。次に貯水槽13の壁を開口して、取水口14および放水口15を設け、且つカーカバー収納ケース11の一部にポンプ16を取付けている。この実施例を実際に車に行う時は、取水口14に水を注水する、或いはポンプ16を利用し、放水口15に着装したホース21より水を吸いあげて貯水槽13に水を満たす。これでカーカバー収納ケース11を積んでいる限り、水の心配なしのドライブができる。

【0019】第8図がカバー回転装着用巻き直し器の実施例である。カバー収納ケース11の蓋17などの構成体、或いはこれ等から伸ばした支持物に軸受18を設置する。そしてこの軸受18に、ハンドル19を取付けた軸棒20を渡しかけるとしている。この実施例の使用法について説明する。元来車のカバーは箱などに丸めて置かれ、或いは巻取り軸に、カバーの後端を軸心にして巻かれている。通常カバー掛けする時は、車の後側から掛けしていくので、このままでは掛けづらい。従ってカーカバー収納ケース11に、上記の状態のままとなっているカーカバー1を、前端を軸心にして軸棒20に巻き直すのである。この作業でカーカバー1の後端が一番上にきて、カバー掛けを車の後から行う時、順序で巻き戻しながら掛けられてよい。尚軸棒20に巻かれたカーカバー1を抜く時であるが、軸棒20は片端だけの一点支えで軸受18に支えられている、或いは両端の二点支えでも、軸棒20は軸受18から取りはずし可能としている。いずれの場合も巻き直したカーカバー1を抜き取る

のは簡単である。

【0020】

【発明の効果】この発明は次のような侵入効果を發揮する。

〔A〕車上荒らし等車への侵入者を撃退する。侵入者が車内へ入ろうとしてカーカバーを脱したとたん、警報ブザー4が鳴り、警報灯5が点灯して周辺に異常事態を知らせ、侵入者を警報撃退する。従来のように窓ガラスが破られることはない。

〔B〕常に10～15ℓの水を車載でき、レジャー使用、緊急使用などに困らない。貯水槽13の水は、ポンプ16の圧力により、ホース21より自由に放水できる。勿論水10ℓあれば簡単な洗車も可能である。尚、副次的な効果として、カーカバー収納ケース11を洗車などで踏み台として使う時、水の重さで台が安定して良い。

〔C〕カバーを車上に転がして装着でき、途中でカバーが風で飛ばされたり、カバーを前後逆に置いたりすることがない。軸棒20から抜きとて、丸く巻いたカーカバー1を車上に回転させながら装着しているので、スピーディーに正確に楽にカバー掛けが行えるのである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の防犯警報装置付カーカバーの斜視図である。

【図2】防犯警報装置付カーカバーを成す、本発明の付属具の斜視図である。

【図3】本発明の貯水槽付カバー収納ケース、及びカバーリターン装着用巻き直し器の斜視図である。

【図4】防犯警報装置付カーカバーの第1実施例を表わす図である。

【図5】防犯警報装置付カーカバーの第2実施例を表わ

す図である。

【図6】防犯警報装置付カーカバーの第3実施例を表わす図である。

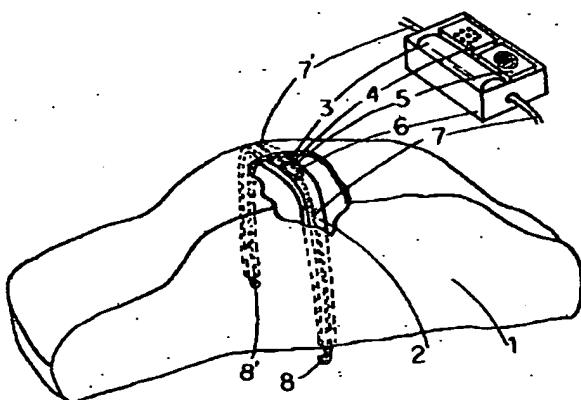
【図7】貯水槽付カバー収納ケースの実施例を表わす図である。

【図8】カバーリターン装着用巻き直し器の実施例を表わす図である。

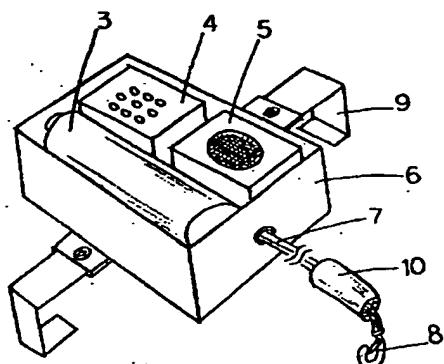
【符号の説明】

- | | |
|----|---------------|
| 1 | カーカバー |
| 10 | 2 箇 |
| | 3 乾電池 |
| | 4 警報ブザー |
| | 5 警報灯 |
| | 6 ボックス |
| | 7 配線 |
| | 8 スイッチ付鉤止具 |
| | 9 車内掛止具 |
| 10 | 10 保護クッション |
| | 11 カーカバー収納ケース |
| 20 | 12 仕切板 |
| | 13 貯水槽 |
| | 14 取水口 |
| | 15 放水口 |
| | 16 ポンプ |
| | 17 蓋 |
| | 18 軸受 |
| | 19 ハンドル |
| | 20 軸棒 |
| | 21 ホース |
| 30 | 22 不法侵入者 |

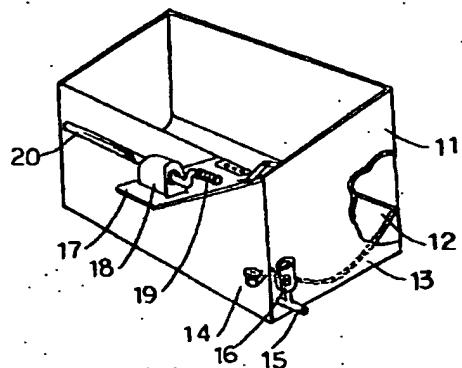
【図1】



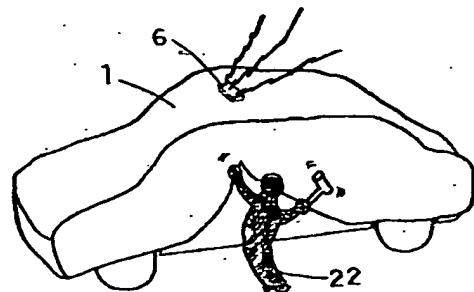
【図2】



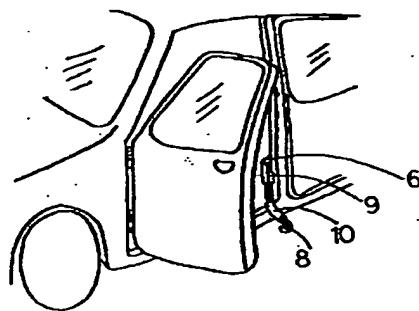
【図3】



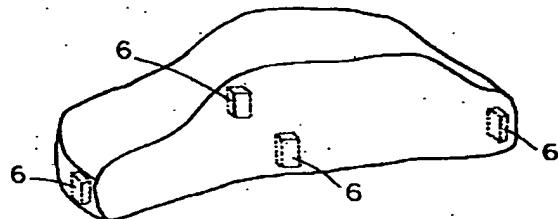
【図4】



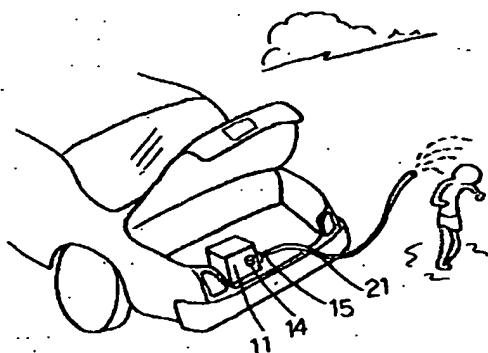
【図6】



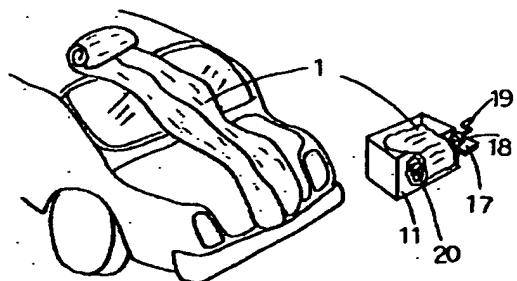
【図5】



【図7】



【図8】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.